

令和6年度第4回 引佐北部小中学校運営協議会

進行：教頭

○ 開催要件確認

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 前回会議録確認

4 議長選出 議長：

5 協議：議長

(1) みさとパビリオンについて

教務主任

(2) 令和7年度の学校教育目標等について

校長

(3) 児童・生徒のタブレット端末活用について

担当教員

6 報告

(1) 小学生の自由登校化について

(2) 小学校の部活動について

7 連絡

(1) 第5回開催日時：1月23日（木）13:30～

○ 学校関係者評価

○ 夢育やらまいか推進事業CS加算分報告

議長：

第6回開催日時：2月27日（木）13:30～

○ 令和7年度学校運営の基本方針について

○ 学校運営協議会自己評価

議長：

拡大学校運営協議会（R6. 10. 10）児童・生徒の意見

「引佐北部小中学校での授業や生活を通してどのようなことができるようになりたいですか。」

- ・ 英語を話せる 3
- ・ 漢字を覚えて使えるようになる
- ・ きれいな字が書ける 3
- ・ 料理人になりたい
- ・ 本をたくさん読めるようになりたい
- ・ 逆上がりができるようになりたい
- ・ 苦手なことを聞き、理解できるようになりたい
- ・ 体力をつける
- ・ 忘れ物をしない
- ・ 大きな声で挨拶 2
- ・ 笑顔 2
- ・ 大きな声で話す 3
- ・ 正しい敬語を使える人 2
- ・ 三つのほこりの礼儀
- ・ ごみを拾えるようにしたい
- ・ 環境を大切にする
- ・ 話をきちんと聞ける 2
- ・ 人前で話せるようになりたい
- ・ 言葉を覚え、いろいろな人と話したい
- ・ 知らない人や初めて会う人と関われる人 2
- ・ コミュニケーション力 4
- ・ コミュニケーションがとれるよう語彙力を高めたい
- ・ 自主勉 2
- ・ 計画的に勉強できる
- ・ 自立
- ・ 自主的な行動
- ・ 計画を立てて実行できる
- ・ 自分ができることを率先してやる
- ・ 積極的に動ける 2
- ・ 役割に積極的に取り組む
- ・ 一つのことを深掘りできる
- ・ 自分の考えを持つ
- ・ 自分の考えを伝えていける人
- ・ 自分やまわりを認められる 2
- ・ 一人一人分かち合える

- ・ グループをうまくまとめられるようになりたい
- ・ 協力して問題解決
- ・ 話をまとめられるようになりたい
- ・ みんなと仲良くできる 2
- ・ 教え合う力を付けたい
- ・ 心に余裕を持てるようになる
- ・ いじめやけんかをなくしたい
- ・ 思いやりを持つ
- ・ 地域の人に愛される学校

そのために

- ・ 本をたくさん読む
- ・ 他校との交流
- ・ 小テストを増やす
- ・ 国語を頑張りたい
- ・ 国際の授業を頑張る
- ・ 授業での発表など小さいことから
- ・ 討論形式な授業をしたい
- ・ 話を聞いて、友達の意見を参考にする、自信を持つ
- ・ クラスメイトと課題を教え合う場の設定
- ・ みんなで遊ぶ
- ・ 一つのことをみんなで協力してやる
- ・ みんなの意見をよく聞いてまとめる
- ・ 相手の長所を見て褒める
- ・ 全校行事を増やしたい
- ・ 運動会などの取組を通した経験
- ・ 繰り返してやってみる
- ・ 「できない」→「できた」→「もっと」

楽しい 向上心・探究心

『みさとパビリオンの反省』のアンケート結果

実施日時について

平日開催が良いと思います。

昨年度は土曜日開催であり、校外での活動のために欠席する児童生徒が数名いました。本年度は平日開催で、そのような理由での欠席者はいなかったので、平日での開催が良いと思います。

特に大きな問題はなかったと思います。各学年や各班の発表時間がどうだったかは次年度に向けて検討すべきかもしれません。

学習の進度、他の行事との間隔等を考えた時に、ちょうどよかったのではないかと感じました。

昨年度、学校行事よりも自己都合を優先した一人の生徒がいたことを主な理由に、今年は平日開催になった。その是非については、保護者や来賓の評価を待ちたい。

自分は昨年度までを知りませんが、全ての子供が参加できたという点で、平日開催でよかったと思います。

保護者の皆さんの参観率も高かったので、平日開催で良いと思います。

平日開催で参観者が少なくなるのでは、と心配しましたが、たくさんの方に御来校いただけたのでよかったと思います。

保護者の方も地域の方も平日ではありましたが、多くの方が来られていて、休日開催だと子ども達の疲れが出てきてしまうと思うので、平日開催で良いと思います。

良い

よい

休日と比べると、保護者の参加人数は少なかったように感じましたが、多くの保護者の皆様に参加いただいていたと思います。教室の広さと他学年の児童生徒の参加人数を考慮すればちょうどよい人数だったのかもしれません。

よいと思う。

よかったと思います。年間や月の行事予定で確認されているのか、保護者の方の出席もよかったと思います。

当日までの準備について

発表と出し物を考えて準備をする時間が特に10月中取られてしまうことが多かったです。

プログラムの決定をもう少し早くできれば、地域への回覧やポスター貼りなど、地域の皆さんへもっと周知を図ることができると思いました。

バタバタとしたのは事実でしたが、臨機応変に対応できていたことで、大きな問題はないと思います。

各学年が計画的に準備を進め、当日はしっかりした発表ができたと思う。

ゆとりを持って進められた。

各学級やグループで、話し合いや準備を重ね、「時間が足りない！」という部分もあったかもしれませんが、それだけ一生懸命に取り組んだということによかったと思います。

また、今年度である程度のスタイルや方向性が固まれば、教員側の心の準備が今年よりも来年、スムーズになる分、パビリオン準備に関する全ての動きがよくなっていくと思います。

細かく丁寧に計画を立ててくださり、ありがとうございました。変更点についても、みんなで共有できるようにして下さったので、始まったらスムーズだったと思います。

クラスでの発表だったため、計画的に準備しやすかった。

よい

中学生のきりやまでは、年間計画よりも4時間多く確保して下さったおかげで、どのグループも準備を整えることができました。（その分、パビリオン以降の活動時間が減りますが…）

昨年までとスタイルが変わったが、困ることはなかった。

学年の発表テーマや準備物など、全体に関わることについては、担当の先生方が段取りをして進めて下さったので、スムーズにできたと思います。

会場について

教室の中に入れていない人がいたので、来年度以降は会場を二つずつにするなど改善は必要かもしれません。

5年生を除く小学生の発表場所が教室だったことで、保護者や地域の方が教室に入り切らなかったのが気になりました。

小学生の発表の時に、教室に入りきれずに廊下から見ている方が結構いた。前列に椅子を用意して後列立ち見にしたり、教室サイズをあげたりして（現実的に難しいですが）対策するとよいと思った。

午後の部は、会場がほどよくバラけていて、よかったと思います。

他に場所がないから、現状を変えようがないと思う。

- ・体育館で、生徒が座っていたあたりも、発表会場として活用できればいいと思います。

小学校の発表場所に人が集まりすぎて動きづらかった。

場所の清掃や整理整頓が間際になった点は反省すべきだと思います。普段から整理整頓し風通しよくしていればよいとは思いますが、今回は、子どもも巻き込んで早めに会場づくり・完成に取り掛かることができればよいと思います。

それぞれの目的に応じて配置などを考えられて良かったと思います。

会場が分散していたので、人が散れてよかったと思います。

各教室で実施したことで、子ども達が伸び伸びと発表や作業ができて良かったと思います。

教室だったため、やりやすかった。教室が人でいっぱいだったが、廊下側からも見れたのでその点ではよかった。

体育館ピロティをはじめ、各場所の整備は早いうちから子供たち主体で進められるとよいと思いました。

体育館ピロティは会場としてよいと思いました。話も聞き取りやすかったです。

多目的室は会場として最高でした。

教室は保護者が入りきらず、廊下で遠くから見ている方もいました。たくさんの方が来てくださっていたので仕方ないですが。

それぞれの会場で、来場者が入りやすいように椅子の配置等を工夫していただいたおかげで、やや手狭なところもありましたが、なんとか発表の形態を保つことができたと思います。

それぞれの発表に合わせて、会場が組まれていたので、よかったと思います。

発表の方法について

各学年でそれぞれの良さが出ていたと思うので、この形で継続で良いと思います。

問題はなかったと思います。発表時間はもう少しあってもよいのではないかと思います。

それぞれの学年やグループが楽しいイベントとして捉えられることができるようになれば、もっともっと主体的な活動になっていくと思います。今年のやり方に賛成です。

今年の発表の仕方の方が、子供たちがとても生き生きと、準備にも本番の発表にも臨めていたと感じました。「個別最適」「協働的」どちらの学習も取り入れられていたこと、特に協働的な学習が、どの学年、グループでも行われていたことが良かったと思います。

全員が個別発表するのに比べて、子供も教師も負担が減ったと思う。

・学年内で、別の内容を発表するグループがあるならば、教室が2部屋に分かれても良かったと思います。さらに、体験活動を入れると、教室に入ることのも難しい場面もありました。

小は学年、中はきりやま、良かったと思います。

アイデアを出し合いながら、友達と交流して内容を決めたり準備をしたりする姿が見られて良かったと思いました。

ここ数年と違う形式だったこと、担当によっては見られない学年があったので、どの学年も動画を撮って記録しておくこと次年度に残ってよかったかな、と思いました。

昨年度とは異なった形でしたが、子ども達が生き生きと発表や活動をしていて、とても良かったと思います。何よりも子ども達の笑顔が見れたことが1番良かったです。

準備や練習等やりやすくて良かった。個人の発表ではなかったもので、クラスで協力して準備、練習をする姿が見れて良かった。

よい。

それぞれの児童生徒に役割があり、自分の役割を果たすことで思いを伝えることができていたと思います。次年度以降もこの方法で発表するのがよいと考えます。

小学校は、これでいいと思う。中学校は、きりやまをどうするかで変わるのではないかと思います。

一人一人の発表とは違って、みんなで協力して作り上げた発表になったと思います。どの学年も、クイズや体験コーナーなど、それぞれに工夫がされていたと感じます。

児童・生徒の様子について

小学生の発表の声が小さかったのが、とても気になりました。

準備時間がいくつか確保されていて、発表に向けてぎりぎりに準備したいものの準備とそれ以外で分けられて助かった。

<発表内容などについて>

小学生も中学生も、自分たちが体験してきたことだったからこそ、納得した堂々とした発表でした。そのため、説得力もあり、見に来る方を巻きこんでの体験活動へのサポートもバッチリでした。みんな、キラキラとした表情をしていて、本当に気持ちのいいすがすがしいパビリオンになったと思います。

そして、小学生は中学生の、中学生は小学生の発表を見て体験して、多くのヒントを得ることができたと思います。

来年が楽しみで仕方ありません。自分がクラスやチームを持っていたら、何をしようか、どんな発表や体験内容にしようか、いろいろ練りながら帰宅しました。

先生方も、今回のやり方の方がサポートしやすかったのではないのでしょうか？

まだまだ自分たちで企画・計画・実行は難しい状況でしたが、気付かせたり考えさせたりする場面はたくさんありました。こういった経験をたくさんさせてあげたいと思いました。

子供たちにとって、今年は初めての発表のしかただったので、最初はイメージがもてずにいたが、準備や練習をする中で、見通しをもって子供たちが意欲的に取り組む姿が見れた。個人発表だと、個への負担があり、パビリオンに対して、楽しさは感じられないようだが、今年のようなかたちなら、楽しく取り組み、子供たちの自主性も育てられると感じた。

例年あることですが、本番が近づいてくると時間が足りないので、準備の時間が欲しいと言ってくる生徒がいました。与えられた時間で進めることが大切であることを徹底したいです。放課後に歌の練習をするということがどこからか声がでたようです。対応に困ったことがありました。

時間が足りないから何とかしてほしいという気持ちも分からなくはないですが、対応に困りました。

子供たちのプレゼン、体験活動どれもよかったです。6年生が小学生をまとめてブースを移動する姿もリーダーが育っているなと感心しました。子供たちが生き生きと活躍する姿をたくさん見ることができました。アウトプットしながらの体験を取り入れた発表の仕方は、発表者、参加者ともに楽しんでいていいと思いました。

きりやまの活動では、平時の活動（シイタケや自然薯の水やり、草取りなど）と発表準備との両立をしなければならないグループもあったため、平時の活動は各グループで分担して行えたらよかったともいます。

昨年度までと違う形でしたが、今回は、準備・練習の段階から、子供たちが楽しみながら取り組むことができたと感じます。当日も緊張感はありませんでしたが、少しずつ子供たちの表情も和らぎ、練習の成果を発揮して発表することができました。また、他の学年の発表も良い刺激になったと思います。みんな楽しんでいました。

保護者・地域の方の様子について

発表や体験を子供と一緒に参加してもらえたと思います。

地域のある方から、「みさとパビリオンを見に行ってもよかった。子供たちが楽しそうに活動していて、今の子供たちは羨ましい。」という言葉いただきました。

好意的に捉えて参観してくださっていたように思います。今年度は従来とスタイルを変えたという点で保護者や地域の方の声をアンケートできちゃんと集める必要があったのではないのでしょうか。

体験にも参加してくださっている保護者の方がたくさんいらして、よかったと思います。平日開催ということからか、参観者の人数は少なめだったように思いますが、子供たちは体調不良者以外は、みんな参加できてよかったと思います。

自由に出入りがしやすいことで色々なブースを見て回っていた。

自分の子供だけでなく、引佐北部の子供たち全員を温かく見守ってくれる大人がたくさんいて、幸せだなあと思いました。この輪を大切に、そして広げていきたいと思いました。

学年発表にしたことで、一人一人のプレッシャーが減ってよかった、子供たちの笑顔がたくさん見られた、楽しそうだった、というお声を聞きました。

保護者の方皆様とても喜ばれていて、感動されて泣かれている方もいらっしゃいました。また、中学生の活動もとても楽しそうにされていました。

各教室で実施したため、子ども達を近くで見ることができて良かったのですが、多くの方が来られていたため、教室に入れなくて、保護者の方の子供たちを見ることができていない方も何名かいらっしゃいました。

今年は、見ごたえがあり、また、子供たちも楽しそうだったが、親も楽しめたという意見もいただいた。

発表の様子や掲示物などの写真撮影等、注意事項を開会式や放送などで、一斉に確認できるとよかったと思います。

熱心に話を聞いたり、体験活動に参加したりしていました。笑顔がこぼれ、楽しそうでした。

体験活動では積極的に参加して下さり、子どもたちもとても楽しそうでした。

参観される保護者・地域の方も笑顔で、とても楽しんでくださっていることが伝わってきました。

(中には、休み時間に声を掛けてきて、感想を伝えてくださる方もいらっしゃいました。)

担当の役割について

今年度の流れで良いと思います。

みさとパビリオンを総括する担当1人を置いた方が良いように思いました。小中ふるさと科担当のどちらかでも良いし、別の人でも良いと思います。

- ・学校の大きな行事として位置付けるならば、体育祭同様の流れを考える必要があると思います。
- ・各学年・各班の発表場所への移動は、教師なしで9年生や6年生に任せられると思います。

生徒児童の主体性を育成するための行事としては、運動会よりもみさとパビリオンで取り組んだ方が良いと個人的には思います。引佐地域に深く関係するこの行事を、実行委員会やみさと会を中心に企画することが生徒にとっても地域にとってもプラスになると思います。運動会と比べて、子供が挑戦したいことに挑戦させてあげやすい機会だと思います。（R7年度の運動会実行委員会が既に始動してしまっているので無理ですが）

今回、交通安全を語る会、タブレット端末の件…と重なってしまい、小のふるさと科担当の山本先生に、同じ時期にたくさんの仕事が回ってしまったことが申し訳なかったです。今年のように、内容を「ふるさと科」を主体にするのならば、やはり「ふるさと科担当」で企画運営していただくのがいいと思います。

今年度のように、分担して、協力するところは協力してのスタイルがよいと思いました。ただ、もう少し、連絡・報告・相談は積極的にすべきかなと思いました。

役割分担したことで、みさと会の活躍の場があり、よかったと思います。

良いと思う。

分担できていてよかったと思います。

よい。

タイムテーブルや前日、当日の流れなど、直前まで変更があって申し訳ありませんでした。事前の職員会議でできるだけ当日案に近いものを提案できるように事前準備すべきだったと反省しています。

いいと思う。

よいと思います。大きな行事で、担当の先生方は、時間設定や参観するグループの割り振りなど、いろいろ大変だったと思います。ありがとうございました。

その他

・校内巡回役を設けて、部外者や不審者への対応、展示・発表物等の破損や児童・生徒の私物の盗難・悪戯への対策を講じた方がよいと思います。(児童・生徒の昼食の置き場所も含めて)

企画、準備、運営等ありがとうございました。お疲れさまでした。

本校学区のような中山間地では、学校が地域の文化センターの役割を果たしていくべきだと思う。市街地の学校の文化発表会とは違う目的が、みさとパビリオンにはあると考える。休日に開催すれば、より多くの大人も参加できたはずである。元々学校行事への参加率が低い市街地の学校に比べて、本校の今年の参加者数が少なくないという判断ができるだろうか？

基本的にどの子もみさとパビリオンに自分から進んで参加しており、表情も楽しくキラキラとしていて、本当にいい一日になったと思います。担当の先生方、そして担任、主任の先生方、本当にありがとうございました！

特にありません。なかなか資料にじっくり目を通す時間をとることができませんでした。準備、計画から当日の運営に至るまで、とにかく丁寧に資料を作ってくださっていたおかげで、当日スムーズに動くことができました。また、これまでに比べて子供も教員もゆとりをもって動けたので、教員も子供たちにサポートしたり一緒に参加をしたりしながら支援することができたと思います。

今年は、子供たち、教師、保護者、地域の方たち、みんなの笑顔が見れたパビリオンだったと思う。

不審者と言ってしまうと大げさかもしれませんが、そのような対応を考えておけばよかったかと思います。受付を一か所にする。弁当を一括で管理する。使用しない教室等の出入り口は閉めておく。等セキュリティ面での対策も必要だと思いました。

担当の先生方、お疲れさまでした。